

第38回 東日本女子駅伝競走大会

主 催	東北陸上競技協会 福島テレビ
主 管	福島陸上競技協会
後 援	日本陸上競技連盟 福島県 福島県スポーツ協会 福島市 福島市教育委員会 福島市スポーツ協会 福島民報社 ラジオ福島 サンケイスポーツ 福島リビング新聞社 ヤマダホールディングス
プレミアパートナー	シチズン時計 ゼビオグループ ニューバランスジャパン トヨタ自動車
サポーターパートナー	北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
参加チーム	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県 山梨県、新潟県、長野県、静岡県(18都道県)

監 督 会 議	11月11日(土) 13:30	キョウワグループ・テルサホール 3階 大会議室(あぶくま)
開 会 式	11月11日(土) 15:00	キョウワグループ・テルサホール 1階 FTホール
競 技 ス タ ー ト	11月12日(日) 12:03	誠電社WINDYスタジアム
閉 会 式	11月12日(日) 競技終了後	〃

テ レ ビ 放 送	制作著作 福島テレビ
	11月12日(日) 12:00~14:30(生中継)
	北海道文化放送、岩手めんこいテレビ、仙台放送、秋田テレビ さくらんぼテレビ、福島テレビ、フジテレビ、山梨放送 NST新潟総合テレビ、長野放送、テレビ静岡
	11月13日(月) 24:26~26:56(中継録画)青森テレビ

大会の記録用に撮影する写真等については、主催者が宣伝・広報等の目的で使用することがありますのであらかじめご了承ください。

目 次

ご あ い さ つ	2	競 技 注 意 事 項	19
大 会 賞 典	8	夜間・休日当番医・AED	21
大 会 式 典	9	第1~30回大会アーカイブ	22
大 会 役 員	10	第31~37回大会の記録	24
競 技 役 員	11	18都道県ユニフォームデザイン	31
中 継 所 役 員	12		
補 助 競 技 役 員	13		
交 通 整 理 員	14		
大 会 要 項	15		

ごあいさつ

東北陸上競技協会

会 長 似 内 利 正



晩秋の信夫路で「第38回東日本女子駅伝競走大会」が「FTVふくしま」マラソンコースにおいて盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

まずは、今年の異常なまでの猛暑の中で体調を整えながらコントロールすることにたいへんなご苦勞があったことと思います。その中で、毎日の厳しい練習に取り組んで各都道府県の代表選手の座を射止め、ここに集うことができた選手の皆さんの健闘を讃えたいと思います。

この大会は、中学生から大学生、社会人までのランナーが同じチームで襷を繋ぐことで、中学生・高校生の競技者にとっては憧れの選手の走りを身近に感じ取ることができる貴重な機会となり、社会人の皆さんにとっては後輩たちのひたむきな姿に走る楽しさを思い起こさせるレースになると思います。

今年の世界選手権やアジア大会には、東日本出身者も数多く出場しており、その大活躍する姿は私たちに大きな感動と希望を与えてくれました。今度は、皆さんが襷に熱い思いを込めて走り抜くことで応援してくれているふるさとの方々に元気を与えるものと確信しております。今大会に向けてこれまで努力してきた全選手が悔いなく成果を遺憾なく発揮されることを願っております。

結びになりますが、本大会の開催にあたりご尽力、ご支援いただきました福島テレビ、福島陸上競技協会、協賛企業をはじめ関係各位、並びに大会運営に携わっていただく競技役員、補助員他、多くの皆様に感謝と御礼を申し上げてあいさついたします。

ごあいさつ

福島陸上競技協会

会 長 鈴 木 浩 一



第38回東日本女子駅伝競走大会へのご参加、およびご来場を心より歓迎申し上げます。

本大会は、東日本都道府県各チーム参加のもと、優れた女子ランナーたちが競い合いながらスポーツの魅力を披露し、新たな記録を築く場として長らく愛されてまいりました。これも、参加選手および応援の皆様のおかげと感謝申し上げます。

この大会は競技力の高さだけでなく、スポーツマンシップとフェアプレーの精神を称え友情と協力の証の大会でもあります。選手たちは日々の努力と訓練を積み重ね、チームとしての一体感を醸成し、晩秋の信夫路の「FTVふくしま」マラソンコース9区間を疾走します。そして、皆様からの温かい声援と応援のお言葉が、彼女たちにとって大きな励みとなります。

本大会の成功には、参加選手、コーチ、スタッフ、審判員、警察関係者、そしてご来場の皆様方が一丸となった協力が不可欠です。皆様方のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

最後に、本大会は過去に数多くの世界的なトップランナーを輩出し、今後の期待に満ちております。新たなスポーツの英雄たちが誕生することを楽しみにしております。また、東北陸上競技協会、福島テレビ、協賛企業をはじめとする多くの皆様に、本大会の開催に尽力・ご支援いただいたことに深く感謝と御礼を申し上げてあいさついたします。

ごあいさつ

福島県知事 内堀 雅雄



本県の秋の風物詩、駅伝シーズンの幕開けを告げる、第38回東日本女子駅伝競走大会が、東日本を代表する数多くの選手、役員の皆様の参加の下、盛大に開催されますことをお喜び申し上げますとともに、皆様の御来県を心から歓迎いたします。

本県では県民の誰もが生涯にわたってスポーツに親しみながら、地域で心身ともに健やかに暮らすことができる「スポーツふくしま」の実現を目指し、スポーツに関する様々な施策を推進しております。また、県営あづま球場で開催された東京2020オリンピック競技大会を契機としたレガシーの継承にも取り組んでおり、スポーツの価値や可能性を広く伝えているところであります。

駅伝競走は、日本発祥の歴史ある競技であり、選手一人ひとりの思いが込められた一本のたすきを懸命につなぐ姿が、多くの人々へ大きな感動と希望を与えてくれます。

選手の皆様には、日頃の練習の成果を存分に発揮され、手に汗握るレースを展開し、スポーツのもつ素晴らしさを広く伝えていただきますとともに、是非この機会に本県の豊かな自然や文化、こだわりの食など福島の魅力にたくさん触れていただき、復興に向けて歩みを進める福島の今を広く発信していただければ幸いです。そして、皆様の中から、日本代表として2024年パリオリンピック競技大会で活躍される選手が数多く誕生することを大いに期待しております。

結びに、本大会の開催に御尽力された関係の皆様へ感謝申し上げますとともに、選手の皆様の御健闘と大会の御成功を祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

ごあいさつ

福島市長 木 幡 浩



東日本の18都道府県から郷土を代表する多くのランナーと役員の皆様をお迎えし、「第38回東日本女子駅伝競走大会」が福島市において盛大に開催されますことは誠に喜ばしく、心からお祝いと歓迎を申し上げます。

さて、福島市では、オリンピックのレガシーを最大限に活かした「スポーツによるまちづくり」を推進しております。スポーツ合宿・大会等の誘致やパラスポーツの振興による共生社会への理解促進、スポーツに触れる多様な機会の創出など、スポーツを「する」「みる」「ささえる」すべての人を応援する取組を持続的に進めているところです。今年度は、新たなスポーツの祭典として「ふくしまシティハーフマラソン2023」を初開催しました。本大会と同じ誠電社WINDYスタジアム(信夫ヶ丘競技場)をスタート会場とし、県内外から約4,400人のランナーが市内中心部を走り抜けました。

このような中、全国から注目されております女子、中・長距離陸上界の精鋭が集う東日本屈指の女子駅伝大会が開催されますことは大変意義深く、本市スポーツの振興に大きく寄与いただけるものと確信しています。

どうか、選手の皆様には各都道府県の代表としての誇りを胸に、日ごろの練習の成果を十二分に発揮され、本大会の栄冠を目指して健闘されますことをご期待申し上げます。

また、この機会に相互の交流を深められるとともに、「くだものの宝石箱」と称している福島市の旬の味覚をご堪能いただければ幸いに存じます。

結びに、本大会の開催にあたり、ご尽力賜りました東北陸上競技協会様、福島テレビ様はじめ関係の皆様に対し、深く敬意を表しますとともに、大会のご成功を心からご祈念申し上げまして、歓迎のことばといたします。

ごあいさつ

福島テレビ株式会社

代表取締役社長 横山 淳



晩秋の信夫路を舞台に東日本18都道県の女性ランナーがたすきをつなぐ「第38回東日本女子駅伝競走大会」が、今年も盛大に開催できますこと大変喜ばしく、皆様のご来県を心から歓迎いたします。

福島テレビは福島県内初の民間テレビ局として1963年(昭和38年)に開局し、今年で60周年を迎えました。どんなに時代が移り変わっても、60年間大切に受け継いできたことは、地域に根差した情報を発信し続けること、そしてそこに大切に育まれてきた伝統文化・芸術やスポーツ振興を通じて、福島県民の皆様の皆様のお役にたちたいという思いです。これからもこの思いを胸に地域への貢献を続けて参りたいと存じます。

さて、この東日本女子駅伝競走大会は女子中・長距離ランナーの育成を目指して1985年(昭和60年)に始まりました。これまでに吉川美香選手や尾崎好美選手、渋井陽子選手、福士加代子選手、尾西美咲選手、新谷仁美選手などオリンピックや世界選手権大会の日本代表として活躍するトップランナーたちがこの大会から羽ばたきました。

今大会の選手の皆様には日頃のトレーニングの成果を存分に発揮していただくとともに、次世代のニューヒロインとして世界を舞台にしたご活躍にも期待したいと思います。

結びに、本大会の開催にあたりご支援ご指導賜りました日本陸上競技連盟、東北陸上競技協会、福島陸上競技協会をはじめとした各都道府県陸上競技協会関係者の皆様、そして大会を支えていただくヤマダホールディングス様をはじめとするご協賛各社様、ご尽力賜ります福島県警察、福島県、福島市と地域の皆様、そして応援いただくファンの皆様に厚く御礼と感謝を申し上げ、挨拶とさせていただきます。

ごあいさつ

株式会社ヤマダホールディングス

代表取締役会長 兼 社長 CEO 山 田 昇



「第38回東日本女子駅伝競走大会」が盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。また、出場される選手の皆様におかれましては、日頃の厳しいトレーニングの成果を存分に発揮されますことを期待しております。

さて、ヤマダホールディングスは、東日本18都道府県代表の各チームが全力で襷をつなぎチーム一丸となってゴールを目指す選手たちの姿と、弊社グループが「暮らしまるごと」コンセプトのもと「生活基盤産業としての新しい業態」への取り組み姿勢に共通しているものがあると考え、本大会をプレミアパートナーとしてサポートさせていただいております。

本大会の一環として、11月5日には福島県内の小学生を対象に、元ヤマダホールディングス陸上競技部の選手を講師とした「運動教室」を開催させていただきました。今後も大会の発展へ、またスポーツを通じた地域振興に向けて応援していきたいと思っております。

私どもヤマダホールディングスは、日々を便利に楽しくする家電から暮らしの基盤である住まいまで、皆様の「暮らしまるごと」をこれまで以上に力強く支えるため、グループ会社それぞれの強みを伸ばし、すべてがつながる経営を目指しています。経営理念に掲げた「創造と挑戦」そして「感謝と信頼」の想いを胸に持続的に成長を続け、支えてくださる皆様とともにサステナブルな社会の構築に貢献していく所存です。

結びに、本大会の開催に向けて、大会運営に携わるすべての皆様のご尽力に心より敬意を表しますとともに、本大会の成功をご祈念申し上げてご挨拶いたします。

賞 典

- ▶総合優勝 日本陸上競技連盟会長賞
東北陸上競技協会賞 福島テレビ賞
金メダル
- 2 位 東北陸上競技協会賞 福島テレビ賞
銀メダル
- 3 位 東北陸上競技協会賞 福島テレビ賞
銅メダル
- 4位～8位 東北陸上競技協会賞 福島テレビ賞

▶区 間 賞 賞 杯

▶NEXTヒロイン賞



式典

開 会 式

11月11日(土) 15:00

キョウワグループ・テルサホール1階 FTホール

1. 開 式 通 告
2. 優 勝 旗 返 還…東京都チーム
3. 日本陸上競技連盟会長賞賞杯返還
4. 主催者あいさつ
5. 来賓あいさつ
6. たすき授与
7. 選 手 宣 誓…山梨県チーム
8. 閉 式 通 告

閉 会 式

11月12日(日) 競技終了後

誠電社WINDYスタジアム

1. 開 式 通 告
2. 表 彰
3. 講 評
4. 閉 式 通 告



競技役員

- | | | | | | | | | |
|----------------------|---|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|
| 1. 総務 | 山崎孝一 | | | | | | | |
| 2. 総務員 | 三浦武彦 | 安田信昭 | 森研二 | 伊藤雅博 | 五十嵐徹明 | 菅野悟史 | 山下訓史 | 伊藤富修 |
| 3. 日本陸連派遣 | 風間明 | 鈴木英穂 | | | | | | |
| 4. 技術総務 | 佐藤直明 | | | | | | | |
| 5. 審判長 | 武田正志 | | | | | | | |
| 6. 決勝審判員 | ◎伊澤寿昭 | 宍戸誠 | | | | | | |
| 7. 監察員
(兼マーシャル) | ◎鹿野克夫 | 三浦久志 | 岡崎次男 | 大越直 | 伊藤忠恒 | 佐藤芳博 | | |
| 8. 移動審判員 | 鈴木仁 | 寺田昌弘 | 阿部秀幸 | 星正彦 | | | | |
| 9. トランスポンダー
(計時員) | ◎武藤悦夫 | 水戸康二 | | | | | | |
| 10. スターター | 馬場大 | | | | | | | |
| 11. 記録・情報処理員 | 鈴木茂和 | | | | | | | |
| 12. アナウンサー | 高橋雅彦 | | | | | | | |
| 13. 報道係 | 小林利匡 | | | | | | | |
| 14. 用器具係 | ◎鈴木敦 | 佐藤貴裕 | | | | | | |
| 15. 競技者係 | ◎齋藤一豊 | 早川佳代 | 宍戸佳代 | | | | | |
| 16. 中継所競技者係 | 宍戸若緒(第1中) 渡部ちえり(第2・8中) 高橋優子(第3・7中)
郷美咲(第4中) 今野紗緒里(第5中) 鈴木仲子(第6中) | | | | | | | |
| 17. 風向・風速係 | (小林利匡) | | | | | | | |
| 18. 医務員 | 鳴原晃 | | | | | | | |
| 19. 庶務兼役員係 | 渡邊幹夫 | | | | | | | |
| 20. 補助競技役員係 | (馬場大) | | | | | | | |
| 21. 走路員 | ◎坂野井浩市 | 門目実 | 宮口剛 | 五十嵐俊道 | 山田貢 | 中川光 | 岡崎馨 | 佐藤和 |
| | 古山博文 | 木戸光 | 佐藤巳代志 | 佐藤瓶 | 熊田総司 | 深田光 | 目黒新一 | 三瓶和 |
| | 大橋昭悟 | 渡邊貴 | 根本敏一 | 渡邊藤 | 鳴原俊一 | 宮崎泰 | 栗原勇樹 | 佐藤史 |
| | 加藤悦子 | 平田美咲 | 大菅出正 | 廣野昇 | 藤沼賢次 | 仁井田侑子 | 菅内奏浩 | 安西隆 |
| | 齋藤祐斗 | 佐藤智 | 鹿部大輔 | 長正壯 | 渡辺文夫 | 大佐藤智 | 阿部大紘 | 二瓶部 |
| | 佐々木駿次 | 安田喜真 | 上遠野澄 | 渡辺裕 | 渡辺倉野将 | 三佐藤野 | 山田孝志 | 渡菅野 |
| | 菅野将也 | 菅野莉々子 | 篠木正志 | 戸昭 | | | | |

中継所役員

中継所 役員	第1中継所	第2中継所 第8中継所	第3中継所 第7中継所	第4中継所	第5中継所	第6中継所
主 任	根本 寿実	平井 明仁	穂積 祐司	菊地 忠	宍戸 英樹	赤沼 健一
競走審判員	長谷川和也	駒木根脩宏	星 文男	佐藤 修一	中田 茂実	米谷 博輝
トランス ポーター	近内 宥斗	菅野 卓弥	南 大紀	向田 祐樹	小桧山 淳	中山 芳文
記 録 員	草野 温子	菊池 雄大	加藤かおり	高橋 一吉	藤石紗瑛子	荒 陽子
出 発 係	皆川 浩 赤井 智紀	鷗沼 源治 小川 尚之	大内 訓 伊藤 幹夫	佐藤 尚希 長沢 茂雄	紺野 卓男 廣野友一郎	小泉 元 菅野 清
競 技 者 係	宍戸 若緒	渡部ちえり	高橋 優子	郷 美咲	今野紗緒里	鈴木 伸子
走 路 員	渡辺 龍二 鈴木 智成	添川 隆博 大河内拓海	高木 正英 大橋 勝	齋藤 一夫 福島優太郎	大内 政良 渡辺 隆夫	市田 悟 成田 祐介
走路協力員	石寺 咲月 猪瀬こころ 赤坂 美玲	大友万杏子 神山 凜奈 進藤 綾乃	越田みずき 加藤 倅子 成田 千葉	木幡 遥香 郷右近美優 鎌田 泰成	谷口 亜実 福島 唯花 鈴木 惺太	藤野 夢 小方 祐佳 佐藤 佑樹
補助競技役員	福島南 10名 橘 5名	福島工業 7名 福島西 5名 聖光学院 7名	福島 10名 福島成蹊 10名	福島成蹊 15名	福島東 15名	学法福島 5名 福島東稜 13名

競技役員輸送計画【西ゲート前発着】

	輸 送(往 路)			収 容(復 路)		
	出発時刻	乗 者	車 両	出発時刻	乗 者	車 両
第1中継所	9:40	競技役員のみ	バス①号車	12:45頃	役員・第1走者	バス⑦号
2・8中継所	9:40	競技役員のみ	バス①号車	14:20頃	役員・第8走者	バス①号
3・7中継所	9:40	競技役員のみ	バス①号車	14:10頃	役員・第7走者	バス③号
第4中継所	10:10	役員・第5走者	バス④号車	13:25頃	役員・第4走者	バス④号
第5中継所	10:20	役員・第6走者	バス⑤号車	13:40頃	役員・第5走者	バス⑤号
第6中継所	10:20	役員・第7走者	バス⑥号車	13:55頃	役員・第6走者	バス⑥号

補助競技役員輸送計画【福島駅西口発着】

	輸 送(往 路)			収 容(復 路)		
	出発時刻	学 校	車 両	出発時刻	学 校	車 両
2・8中継所	10:30	聖光学院	バス⑧号車	14:10	聖光学院	バス⑧号車
3・7中継所	10:30	福島・福島成蹊	バス⑧号車	14:00	福島・福島成蹊	バス⑧号車
第4中継所	10:30	福島成蹊	バス⑧号車	13:50	福島成蹊	バス⑧号車
第5中継所	10:30	福島東	バス⑨号車	13:50	福島東	バス⑨号車
第6中継所	10:30	学法福島・福島東稜	バス⑨号車	14:00	学法福島・福島東稜	バス⑨号車

補助競技役員

【補助競技役員の集合・注意事項】(高校生)

□日 時：令和5年11月12日(日)

スタート・フィニッシュ → 競技場 10:30

第1中継所 → 現地 10:30【時間厳守】

第2～6中継所 → 福島駅西口 10:20

□集合場所：各中継所→地図参照(中間点・あと1kmの補助競技役員も中継所に集合し主任の指示を受ける。)

□注意点：1)各中継所の競技役員の指導に従うこと。

2)自転車を利用して行くので、事故等に十分注意すること。

3)寒さが予想されるので、防寒に注意すること。

4)【中間点】【あと1km】の補助競技役員は通過5分前に表示板を取り、選手にわかるように掲示する。

中継所	学校名と割り当	中継所主任
第1中継所	福島南→10名 橋 → 5名 ◎観衆の整理・規制・フィニッシュ整理他 ◎1区中間点 ◎1区あと1km → 9区中間点に移動・給水	根本 寿実
第2・8中継所	福島西→5名 福島工業→7名 聖光学院→7名 ◎観衆の整理・規制・フィニッシュ整理他 ◎2区中間点 ◎2区あと1km	平井 明仁
第3・7中継所	福島→10名 福島成蹊→10名 ◎観衆の整理・規制・フィニッシュ整理他 ◎3区中間点 → 8区あと1kmに移動 ◎3区あと1km → 8区中間点に移動	穂積 祐司
第4中継所	福島成蹊→15名 ◎観衆の整理・規制・フィニッシュ整理他 ◎4区中間点 → 7区あと1kmに移動 ◎4区あと1km → 7区中間点に移動	菊地 忠
第5中継所 (折り返し)	福島東→15名 ◎観衆の整理・規制・フィニッシュ整理他 ◎5区中間点 → 6区中間点に移動 ◎5区あと1km	宍戸 英樹
第6中継所	福島東稜→13名 学法福島→5名 ◎観衆の整理・規制・フィニッシュ整理他 ◎6区あと1km	赤沼 健一
スタート フィニッシュ	福島東→5名 ◎フィニッシュ係 福島商業→9名 } ◎競技場出入口の観衆の規制・整理 伊達→8名 } 用器具 福島明成→3名 ◎9区あと1kmに移動	馬場 大

交通整理員

●運営協力団体

福島市第一地区体育協会	会 長	佐 藤 昭一郎
〃 第二地区体育協会	会 長	藤 田 修 一
〃 第三地区体育協会	会 長	阿 部 秀 雄
〃 第四地区体育協会	会 長	田 中 悦 夫
〃 清明地区体育協会	会 長	山 田 勇 治
〃 信夫地区体育協会	会 長	半 沢 正 典
〃 佐倉地区体育協会	会 長	佐久間 行 夫
〃 庭坂地区体育協会	会 長	阿 部 義 光
〃 大笹生地区体育協会	会 長	平 塚 恒 二
福島市役所 杉妻支所	支所長	安保木 聡
〃 吉井田支所	支所長	尾 形 祐 紀
福島地区交通安全協会 庭塚支部長		齋 藤 周 夫
〃 水保支部長		宍 戸 次 雄
福島市消防団		
福島地区交通安全協会		
福島市交通対策協議会		
福島市交通安全母の会連絡協議会		

●福島市交通安全教育専門員

高 野 芳 一	池 田 隆	阿 部 真 治	加 藤 哲 郎
長 南 千恵子	八 島 健 夫	高 橋 和 美	武 藤 静 夫
根 本 敏 久	阿 部 孝 司	佐 藤 裕	高 野 正 二
渡 辺 博 之	秋 葉 正 治	桃 井 栄 一	

大会要項

大会名称	第38回 東日本女子駅伝競走大会
趣旨	東日本地区の女子中・長距離選手の育成、強化を目的とする。
主催	東北陸上競技協会 福島テレビ
主管	福島陸上競技協会
後援	日本陸上競技連盟 福島県 福島県スポーツ協会 福島市 福島市教育委員会 福島市スポーツ協会 福島民報社 ラジオ福島 サンケイスポーツ 福島リビング新聞社
プレミアパートナー	ヤマダホールディングス
サポーターパートナー	シチズン時計 ゼビオグループ ニューバランスジャパン トヨタ自動車
期日	令和5年11月12日(日) 12時03分スタート
コース	誠電社WINDYスタジアム～国道4号～国道115号～フルーツライン折返し 「FTVふくしま」マラソンコース
区間と距離	9区間 42.195km(第1区～第9区) 第1区 6km 誠電社WINDYスタジアム～福島銀行福島南支店前 第2区 4km 福島銀行福島南支店前～福島西インター 第3区 3km 福島西インター～鈴木石材店前 第4区 3km 鈴木石材店前～中谷地集会所 第5区 5.0875km 中谷地集会所～(折返し)宍戸果樹園直売所北 第6区 4.1075km 宍戸果樹園直売所北～吾妻中学校南 第7区 4km 吾妻中学校南～横山物産 第8区 3km 横山物産～チサンイン福島西インター 第9区 10km チサンイン福島西インター～誠電社WINDYスタジアム
参加都道府県	北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、 埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、新潟、長野、静岡
チーム編成	1. 各都道府県1チームとし、日本国籍を有する者で構成する。 2. チームは監督1、コーチ2、選手13名の計16名とする。 3. 選手は各都道府県陸協の登録競技者で平成22年(2010年)4月1日以前に生まれた女子競技者でチームを編成し、最終メンバーには①平成17年(2005年)4月2日から平成20年(2008年)4月1日までに生まれた者4名以上、②平成20年(2008年)4月2日から平成22年(2010年)4月1日までに生まれた者3名以上が含まれること。(中学1年生は出場できない。) 4. 競技者起用 (1) 競技者起用については、平成17年(2005年)4月2日から平成20年(2008年)4月1日までに生まれた競技者を最低3名は起用すること。 (2) 平成20年(2008年)4月2日以降に生まれた競技者については、保護者の出場承諾書を必要とするので、参加申込書に添付すること。

平成20年(2008年)4月2日以降に生まれた競技者については、第4区および第8区に起用することとし、4km以上の区間(第1・2・5・6・7・9区)には起用できない。

(注)ただし、3km区間である3区については平成20年(2008年)4月2日以降に生まれた競技者も起用できるものとする。

5. 社会人・学生競技者は、「ふるさと制度」において出身中学校・高等学校所在地の都道府県から、当該年の登録にかかわらず、特別に出場することができる。なお、出身中学校と出身高等学校の所在地都道府県が異なる場合は、出身中学校もしくは出身高等学校どちらの所在地都道府県からも出場することができる。(これを「ふるさと競技者」と呼ぶ。)
6. 「ふるさと競技者」の適用期間、回数及び区間は次の通りとする。
 - (1)適用期間、回数=制限なし。
 - (2)適用区間=2区間以内とする。
7. 「ふるさと競技者」が、登録都道府県から出場するか、出身学校(高等学校または中学校)所在地都道府県から出場するかは、競技者個人ならびにそのチームの指導者の意思を十分に尊重し、登録地・出身都道府県協会の了承を得たうえで決定する。
8. 出身学校所在地都道府県から出場した場合のプログラムにおける所属表記は、当該出身中学校もしくは高等学校名と、現・登録所属団体名を併記する。
9. 日本陸連強化競技者の出場については、その指導者と強化委員会において十分に協議し配慮する。

競技規定

本大会は、2023年度日本陸上競技連盟競技規則、同駅伝競走基準および本大会規定による。

1. 都道府県対抗とする。
2. 競走には一切伴走を認めない。
3. 引き継ぎはタスキを用いる。(主催者側で準備する。)
4. 競技者は支給されたアスリートビブスを使用すること。
5. 申込みは下記の要領による。

●第1次参加申込み

本大会参加申込みは、所定の様式により必要事項を記入のうえ、各都道府県陸協を通じて、期日までに申込みこと。

◎申込み締切 令和5年9月21日(木)まで必着のこと。

●第2次申込み

所定の様式により申込みこと。

◎申込み締切 令和5年10月25日(水)まで必着のこと。

●申込み先 〒960-8508 福島市御山町2-5 福島テレビ内

東日本女子駅伝事務局 電話 024-536-8010(直通) FAX 024-536-8092

email ejwe2023@fukushima-tv.co.jp

6. 申込み後の変更
第2次申込み以降、11月10日(金)までの期間に選手の変更が生じた場合は速やかに事務局に連絡すること。
 7. 正式オーダー提出
第1区走者より第9区走者の正式オーダーは、大会前日の午前11時30分から午後0時10分までに、監督会議受付(キョウワグループ・テルサホール)に所定の用紙で提出すること。
 8. 競技者変更
監督会議終了後から大会当日午前9時00分までの競技者変更は、補欠に限るものとする。
 9. 競技運営上、先頭より10分遅れた場合は、繰り上げ出発をする。
- 表 彰**
1. 優勝チームには優勝旗(持ち回り)を授与し、総合8位までを表彰する。
 2. 区間優勝者には区間賞を授与する。
 3. 4区・8区区間優勝者にはNEXTヒロイン賞を授与する。
- 宿泊・交通費**
1. 宿泊・交通費は主催者において負担する。(支給基準は本大会内規による。)
- そ の 他**
1. 主催者において参加者全員、スポーツ傷害保険に加入する。
 2. 参加者全員、健康保険証または写しを携帯すること。
 3. 第1次参加申込み後、チームの強化費を支給する。
 4. 競技者は支給されたユニフォームを着用すること。
 5. 監督、コーチのための車は準備しない。
 6. 競技者輸送等については監督会議時に説明する。
 7. 本大会の事務局を以下に設置し、大会に関する連絡を行う。

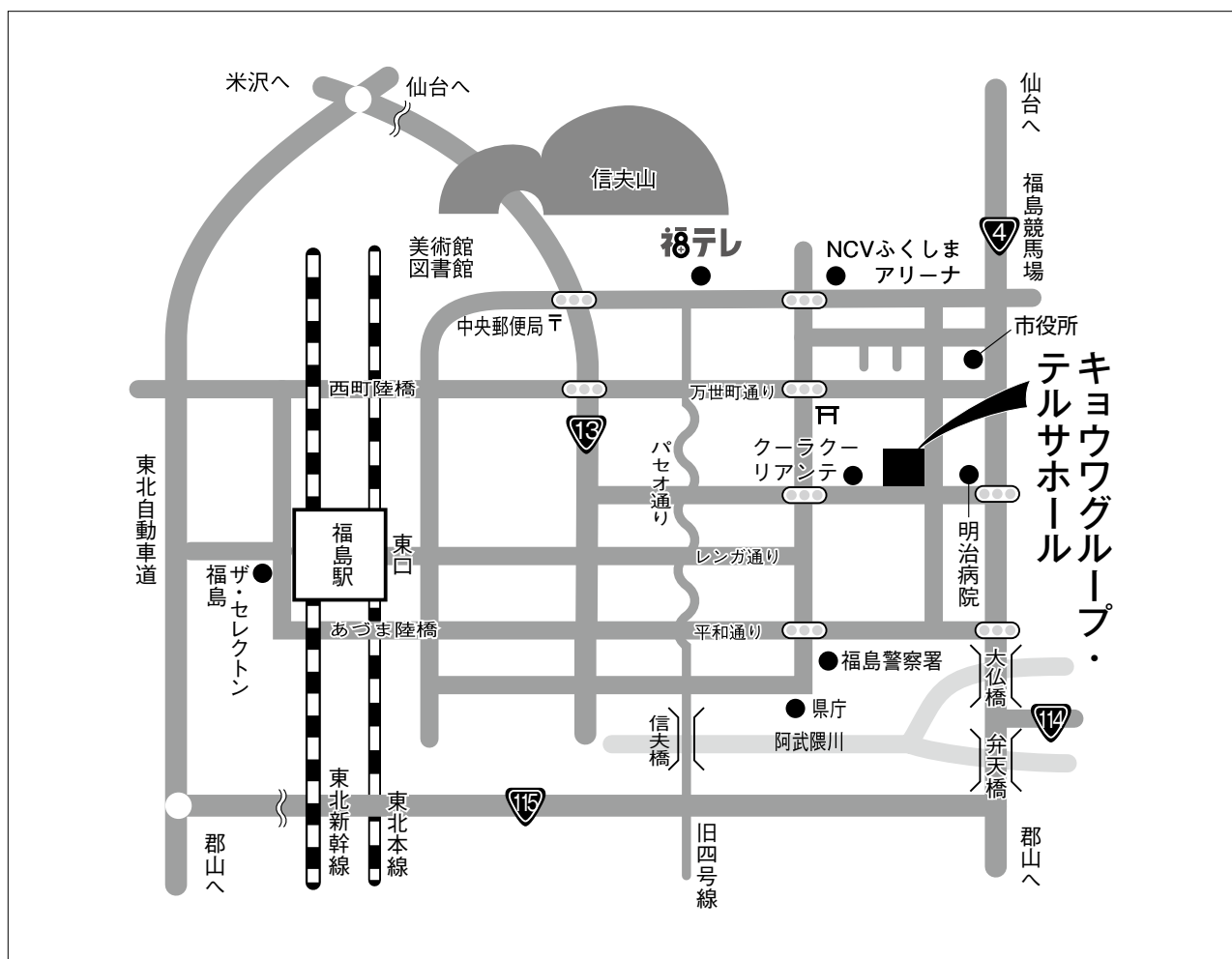
東日本女子駅伝事務局

〒960-8508 福島市御山町2-5 福島テレビ内

電話 024-536-8010(直通) FAX 024-536-8092

email ejwe2023@fukushima-tv.co.jp

〈監督会議・開会式場ご案内〉



※第39回大会開催日…

令和6年11月10日(11月第2日曜日)予定

競技注意事項

本大会は、2023年度日本陸上競技連盟競技規則、同駅伝競走基準および本大会規定による。

1. 競技者変更について

- ①競技者オーダーは、11月11日(土)午前11:30から午後0:10まで受付とする。
- ②監督会議終了後から大会当日午前9時00分までの競技者変更は、補欠をその区間の交代として起用することができる。この競技者変更は、大会当日午前9時00分まで競技場第一点呼場で受け付ける。
- ③競技者の区間変更は認めない。

2. アスリートビブスについて

1人5枚(大会当日1枚、大会前日4枚)配布する。その使用は次のとおり。

- ①大会当日配布の1枚(チップのついたもの)は、ユニフォーム胸部にそのままの形でつける。なお回収はチーム毎に全区間をまとめて指定の送り先に発送する。
- ②1枚はユニフォーム背部にそのままの形でつける。
- ③2枚は競技者の一番上に着ている上衣の胸と背部につける。
- ④1枚は荷物を入れる袋につける。
- ⑤ユニフォームには、都道県名がよく見えるようにアスリートビブスをつけること。

3. 招集について

- ①第一点呼場は、競技場スタート地点とする。ユニフォーム胸部用のアスリートビブスを受け取り、その場でユニフォーム胸部につける。(全競技者)
- ②第一区競技者は第一点呼・第二点呼とも競技場スタート地点で行う。
- ③第二区以後の競技者は、競技場で別表により第一点呼を行う。第一点呼終了後、各中継所まで輸送バスにより配置する。なお、第一点呼を受けていない場合は失格とする。第二点呼(最終点呼)は、現地(各中継所)で行う。中継所審判員の指示に従うこと。
- ④第二点呼(最終点呼)の際は、支給されたユニフォームを着用して集合すること。
- ⑤各中継所への競技者配置・点呼・収容時間は、輸送計画表のとおりである。

4. 競技について

- ①競技者はいかなる場合でも道路左側を走らなければならない。右折交差点においても誘導ライン(カラーコーン)より右に出るはならない。なお、審判員の指示に従うこと。
- ②引継ぎ用タスキは大会本部で用意する。タスキは開会式において各チーム代表者に渡す。
- ③タスキは肩から斜めわき下へかけて走るものとし、肩にかけていないものは失格とする。ただし、中継所前後は手に持って走ってもよいが、できるだけ早く肩にかけて走ること。
- ④各中継所でのタスキの受け渡しは、リレーゾーンに準じて中継線前方20m以内とする。
- ⑤中継所においてタスキを渡し終わった競技者は、速やかに左側へ寄るか、走路外へ出ること。
- ⑥中継所においてタスキを引継ぐ競技者は、中継線より進行方向(前方)に位置しなければならない。
- ⑦タスキは投げたりしないで手渡さなければならない。
- ⑧競技者が途中で競技を続行することができない状態になった時、または競技を中止させられた場合は、当該チームのその区間の競技を無効とする。ただし、そのチームは審判長の指示に従い、次区間走者から再び競技を続行することができる。この場合、そのチームの全体の記録と成績は認められないが、無効となった区間以外の各区間の記録は認められる。なお、再スタートの時期は、最終チームの走者と同時スタートとする。

- ⑨第一区走者の出発の要領は次のとおりである。
- 5分前、1分前、30秒前、20秒前をそれぞれアナウンスし、「10秒前」と呼ぶ。
この時スタートを切る準備をし、ピストルの合図でスタートする。
 - 5分前の予告で競技服装になり、1分前のアナウンスでレーン順に従いスタートラインに並ぶ。
- ⑩競技運営上、先頭より10分遅れた場合は繰り上げスタートを行う。
- ⑪スタート・フィニッシュは次のとおり。
- 第一区走者は第四コーナーの90m地点からスタートし、競技場を1周した後、第四コーナーの西ゲートから場外へ出る。
 - 第九区走者は競技場第四コーナーのゲートから競技場へ入り競技場を1¼周してフィニッシュする。
- ⑫各区分とも中間点、あと1km地点を表示する。
- ⑬競技者は車および人による伴走、飲食物の補給、その他援助を受けてはいけないし、援助してもいけない。

5. レーンの抽選について

- ①第一区走者の出発時のレーン順は、正式オーダー提出時に抽選によって決定する。
- ②スタートは二列とし、走る方向に向かって左から右へレーン順に並ぶ。(前列9人、後列9人)

6. 競技者輸送(配置、撤収)について

- ①競技者の配置については第一点呼後、競技者係(中継所)の引率のもとにバスで行う。
- ②競技者は走り終わった中継所で待機し、競技者収容車に乗車すること。
- ③各中継所の競技者の収容については最終走者通過後、下記計画表により行う。
- ④原則、付き添いは輸送しない。
- ⑤輸送計画は次のとおり。

1. 点呼ならびにバス配置時刻

走者	中継所	第1点呼	競技場出発	第2点呼	先頭通過 予想時刻	車両
1	競技場	10:20		11:50		
2	第1	9:45	10:00	12:05	12:22	2号車
3	第2	9:45	10:00	12:20	12:35	2号車
4	第3	9:55	10:10	12:30	12:45	3号車
5	第4	9:55	10:10	12:40	12:54	4号車
6	第5	10:05	10:20	12:55	13:10	5号車
7	第6	10:05	10:20	13:10	13:23	6号車
8	第7	10:45	11:00	13:20	13:36	1号車
9	第8	10:45	11:00	13:30	13:45	1号車

2. 収容バス時刻

走者	中継所	走者現地着	現地発	競技場着	車両
1	第1	12:25	12:45	13:00	7号車
2	第2	12:40	13:00	13:35	2号車
3	第3	12:50	13:10	13:35	2号車
4	第4	13:00	13:25	13:55	4号車
5	第5	13:20	13:40	14:15	5号車
6	第6	13:35	13:55	14:25	6号車
7	第7	13:50	14:10	14:35	3号車
8	第8	14:05	14:20	14:40	1号車

7. 荷物輸送について

競技者の荷物(更衣物)等の輸送は行わない。

8. その他

- ①各チームの監督、コーチは所定の腕章(一時貸与)を左上腕につけること。
- ②レース中に生じた事故については救急医療のみ大会本部で行うが、それ以後の責任は負わない。
- ③総合成績、区間成績は閉会式後各チームに一部配布する。(監督・コーチ腕章と引き換える)
- ④競技者は中継所付近の民家や一部借用している施設に迷惑のかからないように十分注意すること。
(ゴミ・空缶などの処理)
- ⑤各中継所における更衣所、トイレについては、審判員の指示に従うこと。
- ⑥ウォームアップは下記の場所で行うこと。
(2区福島一中、3・9区鳥川小、4・8区佐倉小、5区庭塚小、6区大笹生小、7区吾妻中)
- ⑦各チームの監督又はコーチいずれか1名は事故などに対応する為競技場の控室に待機すること。

以上

夜間・休日当番医

【夜間急病診療】 受付18:30～翌朝7:00

・福島市夜間急病診療所 福島市上町5番6号 上町テラス2階 (TEL)024-525-7672

【休日救急当番医 11月12日(日) 9:00～17:00

内科

- ・森合くにい内科 福島市森合高野1-12 (TEL)024-555-1881
- ・この花内科クリニック 福島市郷野目字仲11 (TEL)024-563-1287

外科／整形外科

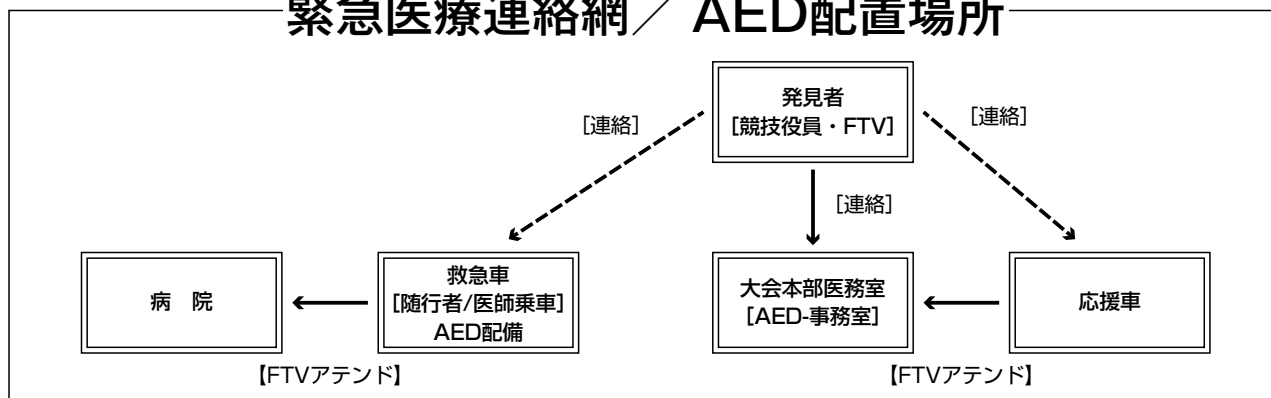
- ・石橋脳神経外科クリニック 福島市栄町6-6 (TEL)024-523-0360

【総合病院】

- 福島県立医科大学附属病院 福島市光が丘1 (TEL)024-547-1111(代表)
- 福島赤十字病院 福島市八島町7-7 (TEL)024-534-6101(代表)
- 大原総合病院 福島市上町6-1 (TEL)024-526-0300(代表)
- 済生会福島総合病院 福島市大森字下原田25 (TEL)024-544-5171(代表)

※レース中に故障が発生した場合は競技役員又はFTV社員が対応いたします

緊急医療連絡網／AED配置場所





第1～30回大会アーカイブ



第1回 (1985年)



第2回 (1986年)



第7回 (1991年)



第12回 (1996年)



第17回 (2001年)

歴代の記録

◆「FTVふくしま」マラソンコース

※大会記録

第1回	東京	2時間27分02秒	第11回	埼玉	2時間19分08秒	第21回	埼玉	2時間19分26秒
第2回	茨城	2時間24分20秒	第12回	埼玉	2時間19分47秒	第22回	群馬	2時間20分37秒
第3回	千葉	2時間24分33秒	第13回	宮城	2時間19分42秒	第23回	東京	2時間18分34秒
第4回	千葉	2時間24分05秒	第14回	東京	2時間21分24秒	第24回	東京	2時間19分15秒
第5回	東京	2時間20分03秒	第15回	千葉	2時間19分39秒	第25回	長野	2時間18分36秒
第6回	群馬	2時間18分45秒	第16回	東京	2時間17分54秒	第26回	千葉	2時間18分02秒
第7回	千葉	2時間20分01秒	第17回	千葉	2時間19分02秒	第27回	神奈川	2時間16分57秒
第8回	東京	2時間20分39秒	第18回	神奈川	2時間21分50秒	第28回	神奈川	2時間16分16秒※
第9回	宮城	2時間22分06秒	第19回	神奈川	2時間19分29秒	第29回	千葉	2時間19分23秒
第10回	東京	2時間22分44秒	第20回	神奈川	2時間18分26秒	第30回	群馬	2時間16分43秒

今大会ホームページからこれまでの大会ダイジェストをごらんいただけます。
<https://www.fukushima-tv.co.jp/ekiden38/>



第18回 (2002年)



第20回 (2004年)



第23回 (2007年)



第27回 (2011年)



第30回 (2014年)

第1～30回大会アーカイブ

1985年11月、女子中・長距離の発掘育成を目的としてスタートした東日本女子駅伝。毎回、若手女子ランナーが福島路を舞台に熱いドラマを繰り広げた。優勝タイムも第1回大会優勝の東京から第30回大会優勝の群馬まで、大幅に縮まった。また、この大会から世界へと羽ばたくランナーも多く誕生している。

区間最高記録

第31回	千葉	2時間17分27秒
第32回	長野	2時間17分55秒
第33回	千葉	2時間18分37秒
第34回	東京	2時間18分44秒
第35回	千葉	2時間18分56秒
第36回	群馬	2時間17分10秒
第37回	東京	2時間17分29秒

1区 6km	岡本春美(群馬) 18分44秒 (第36回)	2区 4km	高山典子(神奈川) 12分41秒 (第19回)	3区 3km	高橋千恵美(宮城) 9分44秒 (第11回)
4区 3km	小林由佳(栃木) 9分10秒 (第26回)	5区 5.0875km	杉原加代(神奈川) 16分02秒 (第21回)	6区 4.1075km	内藤早紀子(千葉) 12分44秒 (第27回)
7区 4km	西山未奈美(神奈川) 12分36秒 (第33回)	8区 3km	林 英麻(群馬) 9分08秒 (第29回)	9区 10km	新谷仁美(東京) 30分52秒 (第35回)

第31回 '15.11.8



第31回大会成績			
1	千葉	2° 17' 27"	
2	東京	2° 18' 03"	
3	栃木	2° 18' 58"	
4	神奈川	2° 19' 18"	
5	埼玉	2° 20' 08"	
6	静岡	2° 20' 34"	
7	長野	2° 20' 50"	
8	山梨	2° 21' 12"	
9	新潟	2° 21' 28"	
10	茨城	2° 21' 28"	
11	群馬	2° 22' 00"	
12	岩手	2° 23' 11"	
13	北海道	2° 23' 44"	
14	青森	2° 23' 49"	
15	宮城	2° 24' 26"	
16	秋田	2° 24' 36"	
17	福島	2° 26' 27"	
18	山形	2° 27' 31"	

第31回大会区間記録			
1区 (6km)	関根花観 (東京・日本郵政グループ)	18' 57"	
2区 (4km)	木村友香 (千葉・ユニバーサルエンターテインメント)	12' 48"	
3区 (3km)	石川優鈴 (東京・八王子高3年)	10' 04"	
4区 (3km)	伊井笑歩 (群馬・富士見中3年)	9' 31"	
5区 (5.0875km)	大槻みちる (東京・第一生命)	16' 43"	
6区 (4.1075km)	関谷夏希 (千葉・市立船橋高3年)	12' 48"	
7区 (4km)	長濱夕海香 (神奈川・三浦学苑高2年)	13' 02"	
8区 (3km)	保科琴音 (千葉・山田中3年)	9' 21"	
9区 (10km)	和久夢来 (栃木・ユニバーサルエンターテインメント)	32' 11"	

31回目という新たな時代に突入した今大会。リオ五輪直前の大会ということもあり、未来の日本代表を目指す女性ランナーたちが福島路を華やかに力走した。

雨の降る中始まったレースは1区・東京の関根花観が2年連続の区間賞でトップに立った。その後も優勝候補の東京がレースをけん引する展開になる中、少しずつ追い上げをみせたのが千葉。中でも6区の関谷夏希が区間賞の快走で埼玉を抜き、59秒差あったトップ東京を追い上げ5秒差にまで迫った。そして8区中学生の保科琴音も区間賞の好走でついに東京をとらえ、トップに立った。アンカーの桑原彩もトップを守りフィニッシュ。2年ぶりの優勝を果たした。2位は東京。アンカー和久夢来が区間トップの3人抜きの激走で栃木が3位に入った。

平均16.7歳という若いチームで挑んだ地元の福島はスタートから出遅れ、17位でフィニッシュし、去年に続く入賞は逃した。

優勝チーム記録

第31回大会・平成27年11月8日(日) 千葉県チーム 2時間17分27秒									
監督・滝田輝行／コーチ・野口英盛 佐俣牧子									
区間	1区・6km	2区・4km	3区・3km	4区・3km	5区・5.0875km	6区・4.1075km	7区・4km	8区・3km	9区・10km
選手	松崎 璃子 (積水化学) 19' 50"	木村 友香 (ユニバーサルエンターテインメント) 12' 48"	池亀 彩花 (市立船橋高3年) 10' 12"	石川 英沙 (松戸第一中3年) 9' 48"	中野 舞 (スターツ) 16' 58"	関谷 夏希 (市立船橋高3年) 12' 48"	藤本 彩夏 (市立船橋高3年) 13' 28"	保科 琴音 (山田中3年) 9' 21"	桑原 彩 (積水化学) 32' 14"

第32回 '16.11.13



1	長野	2° 17' 55"
2	千葉	2° 18' 28"
3	静岡	2° 19' 20"
4	東京	2° 19' 40"
5	神奈川	2° 20' 32"
6	茨城	2° 20' 32"
7	北海道	2° 22' 35"
8	埼玉	2° 22' 44"
9	宮城	2° 23' 34"
10	福島	2° 24' 09"
11	栃木	2° 24' 18"
12	群馬	2° 24' 58"
13	秋田	2° 25' 23"
14	岩手	2° 25' 24"
15	山形	2° 26' 45"
16	新潟	2° 27' 19"
17	青森	2° 28' 45"
18	山梨	2° 31' 31"

1区 (6km)	和田有菜 (長野・長野東高2年)	19' 08"
2区 (4km)	木村友香 (千葉・ユニバーサルエンターテインメント)	12' 57"
3区 (3km)	狩野早耶 (北海道・札幌日本大学高3年)	10' 03"
4区 (3km)	不破聖衣来 (群馬・大類中2年)	9' 23"
5区 (5.0875km)	林英麻 (群馬・健大高崎高2年)	16' 34"
6区 (4.1075km)	細田あい (長野・日本体育大3年)	12' 53"
7区 (4km)	赤坂よもぎ (神奈川・名城大3年)	13' 22"
8区 (3km)	久保田絢乃 (長野・丸子北中3年)	9' 23"
9区 (10km)	清田真央 (静岡・スズキ浜松AC)	31' 56"

秋晴れのもと32回目を迎えた大会は長野が2時間17分55秒のタイムで7年ぶり2度目の優勝を飾った。

1区から和田有菜のスピード感あふれる走りで先頭に立った長野。2区では千葉の注目のランナー木村友香が区間賞の走りでトップを奪うが、長野も1秒差の2位でタスキをつないだ。3区以降も安定した走りの長野は、6区の細田あい、8区の中学生・久保田絢乃が区間賞をとるなど、トップを譲ることなくフィニッシュした。

大会後リオ五輪、世界陸上などに出場した静岡のアンカー清田真央は6位でタスキを受けると、3人を抜く区間賞の走りで3位入賞に貢献した。福島はアンカー小澤夏美が2人を抜く力走を見せたが10位でフィニッシュ。2年ぶりの入賞を逃した。

優勝チーム記録

第32回大会・平成28年11月13日(日) 長野県チーム 2時間17分55秒									
監督・玉城良二／コーチ・木下純市 富永浩一									
区間	1区・6km	2区・4km	3区・3km	4区・3km	5区・5.0875km	6区・4.1075km	7区・4km	8区・3km	9区・10km
選手	和田有菜 (長野東高2年) 19' 08"	松澤綾音 (長野東高2年) 13' 03"	高安結衣 (長野東高1年) 10' 08"	高松いずみ (開田中3年) 9' 57"	湯澤ほのか (名城大4年) 16' 49"	細田あい (日本体育大3年) 12' 53"	岡村未歩 (長野東高3年) 13' 41"	久保田絢乃 (丸子北中3年) 9' 23"	玉城かな (名城大2年) 32' 53"

第33回 '17.11.12



第33回大会成績			
1	千葉	2° 18' 37"	
2	長野	2° 19' 21"	
3	茨城	2° 20' 15"	
4	静岡	2° 20' 19"	
5	神奈川	2° 20' 25"	
6	宮城	2° 22' 27"	
7	東京	2° 22' 35"	
8	埼玉	2° 23' 12"	
9	栃木	2° 24' 54"	
10	群馬	2° 24' 55"	
11	福島	2° 25' 15"	
12	新潟	2° 25' 34"	
13	北海道	2° 25' 40"	
14	山形	2° 25' 45"	
15	秋田	2° 26' 03"	
16	岩手	2° 26' 59"	
17	山梨	2° 30' 06"	
18	青森	2° 30' 08"	

第33回大会区間記録			
1区 (6km)	阿部 有香里 (埼玉・しまむら)	19' 26"	
2区 (4km)	木村 友香 (千葉・ユニバーサルエンターテインメント)	13' 03"	
3区 (3km)	高安 結衣 (長野・長野東高2年)	10' 12"	
4区 (3km)	不破 聖衣来 (群馬・大類中3年)	9' 35"	
5区 (5.0875km)	風間 歩佳 (千葉・成田高1年)	17' 02"	
6区 (4.1075km)	上田 未奈 (千葉・城西大3年) 松澤 綾音 (長野・長野東高3年)	13' 17"	
7区 (4km)	西山 未奈美 (神奈川・白鷗女子高3年)	★ 12' 36"	
8区 (3km)	南 日向 (千葉・葛飾中2年)	9' 14"	
9区 (10km)	関谷 夏希 (千葉・大東文化大2年)	32' 09"	

※ ★は区間新記録

33回大会は前年優勝の長野と強豪千葉との一歩も譲らない戦いが繰り広げられた。2区・千葉の木村友香は区間賞の好走でトップに立ったが、4区で長野が逆転。5区・6区は両チームが同タイム・トップのデットヒートの展開に。29秒差のハンデを背負ってタスキを受けた中学生区間8区の千葉・南日向が残り1キロ付近で逆転すると、逆に17秒差をつけてアンカーにタスキをつなぎ、そのままフィニッシュ。千葉が2年ぶり9回目の優勝を果たした。

神奈川の西山未奈美が第10回大会(第12回大会タイ記録)以来更新されていなかった7区で、12分36秒の区間新記録を樹立した。地元・福島は11位だった。

優勝チーム記録

第33回大会・平成29年11月12日(日) 千葉県チーム 2時間18分37秒									
監督・滝田輝行 / コーチ・佐俣牧子 小林尚揮									
区間	1区・6km	2区・4km	3区・3km	4区・3km	5区・5.0875km	6区・4.1075km	7区・4km	8区・3km	9区・10km
選手	加世田梨花 (名城大1年) 19' 30"	木村 友香 (ユニバーサルエンターテインメント) 13' 03"	石川 英沙 (成田高2年) 10' 21"	杉山 明沙 (鎌ヶ谷第二中3年) 10' 25"	風間 歩佳 (成田高1年) 17' 02"	上田 未奈 (城西大3年) 13' 17"	藤村 華純 (成田高2年) 13' 36"	南 日向 (葛飾中2年) 9' 14"	関谷 夏希 (大東文化大2年) 32' 09"

第34回 '18.11.11



1	東 京	2° 18' 44"
2	長 野	2° 19' 07"
3	静 岡	2° 19' 26"
4	千 葉	2° 19' 58"
5	神 奈 川	2° 20' 42"
6	群 馬	2° 21' 11"
7	埼 玉	2° 21' 24"
8	茨 城	2° 22' 06"
9	宮 城	2° 22' 18"
10	秋 田	2° 23' 20"
11	新 潟	2° 23' 59"
12	福 島	2° 24' 35"
13	北 海 道	2° 26' 17"
14	栃 木	2° 26' 47"
15	岩 手	2° 26' 54"
16	山 形	2° 28' 34"
17	青 森	2° 29' 33"
18	山 梨	2° 33' 32"

1区 (6 km)	清 水 真 帆 (静岡・ヤマダ電機)	19' 19"
2区 (4 km)	小 林 成 美 (長野・長野東高3年)	13' 09"
3区 (3 km)	高 松 い ず み (長野・長野東高2年)	10' 03"
4区 (3 km)	米 澤 奈 々 香 (静岡・北浜中3年)	9' 33"
5区 (5.0875km)	和 田 有 菜 (長野・名城大1年)	16' 38"
6区 (4.1075km)	保 坂 晴 子 (東京・錦城学園高2年)	13' 28"
7区 (4 km)	会 田 佳 世 (東京・順天高2年)	13' 00"
8区 (3 km)	山 中 菜 摘 (埼玉・久喜中3年)	9' 12"
9区 (10km)	新 谷 仁 美 (東京・NIKE TOKYO TC)	★ 31' 08"

※ ★は区間新記録

34回大会は一昨年優勝の長野と前年優勝の千葉の争いとなった。

2区でトップに立った長野が終盤までリードし、これを千葉が追いかける展開。

しかし、最終9区で、ロンドン五輪代表で4年ぶりに現役復帰した新谷仁美が1位から1分35秒差でタスキを受け取ると前を猛追。

中間点で早くも1分を縮めると、6キロ過ぎには、2位にいた静岡の清田真央を一気に抜き去り、8キロ過ぎには長野を抜いていよいよトップに立ち、そのままゴール。

新谷は31分8秒で、第16回大会で渋井陽子が出した区間記録31分11秒を18年ぶりに更新した。2位は長野、3位は静岡。連覇を目指した千葉は4位。地元・福島は12位だった。

優勝チーム記録

第34回大会・平成30年11月11日(日) 東京都チーム 2時間18分44秒									
監督・中村孝生／コーチ・田島 恵 野間 昭									
区間	1区・6 km	2区・4 km	3区・3 km	4区・3 km	5区・5.0875km	6区・4.1075km	7区・4 km	8区・3 km	9区・10km
選手	久保 彩乃 (ユニクロ) 20' 09"	卜部 蘭 (NIKE TOKYO TC) 13' 23"	増渕 祐香 (錦城学園高2年) 10' 20"	廣尾 七海 (日野四中3年) 10' 04"	元廣 由美 (大東文化大4年) 17' 23"	保坂 晴子 (錦城学園高2年) 13' 28"	会田 佳世 (順天高2年) 13' 00"	塩入 百葉 (足立十四中3年) 9' 49"	新谷 仁美 (NIKE TOKYO TC) 31' 08"

第35回 '19.11.10



順位	選手	タイム
1	千葉 葉	2° 18' 56"
2	東京 京	2° 20' 02"
3	長野 野	2° 20' 19"
4	神奈川 川	2° 20' 23"
5	宮城 城	2° 20' 47"
6	群馬 馬	2° 21' 23"
7	埼玉 玉	2° 22' 03"
8	静岡 岡	2° 23' 43"
9	福島 島	2° 24' 24"
10	茨城 城	2° 24' 38"
11	栃木 木	2° 25' 56"
12	秋田 田	2° 27' 11"
13	青森 森	2° 27' 41"
14	山形 形	2° 28' 21"
15	新潟 潟	2° 28' 48"
16	山梨 梨	2° 29' 05"
17	北海道 道	2° 30' 01"
18	岩手 手	2° 31' 51"

区間	選手	タイム
1区 (6km)	佐藤 成葉 (神奈川・立命館大4年)	19' 23"
2区 (4km)	高松 いずみ (長野・長野東高3年)	13' 40"
3区 (3km)	山中 菜摘 (宮城・仙台育英学園高1年)	10' 01"
4区 (3km)	小川 陽香 (埼玉・草加中3年)	9' 56"
5区 (5.0875km)	木村 梨七 (宮城・仙台育英学園高3年)	16' 38"
6区 (4.1075km)	篠塚 麻衣 (千葉・ユニバーサルエンターテインメント)	13' 17"
7区 (4km)	小坂井 智絵 (千葉・成田高2年)	12' 41"
8区 (3km)	南 莉花 (千葉・大網中3年)	9' 21"
9区 (10km)	新谷 仁美 (東京・NIKE TOKYO TC)	★ 30' 52"

※ ★は区間新記録

第35回大会は、終盤で前回王者の東京が猛烈な追い上げを見せ、千葉を追いかける展開となった。7区、8区で区間賞をマークした千葉は、トップでエース・加世田にタスキを渡す。この時点で、千葉と東京は2分45秒差。

しかし、東京のアンカーは前回大会で9区の区間新記録を更新し、のちに東京五輪10,000m日本代表となった新谷仁美。猛烈な追い上げを見せて4人のごぼう抜きを見せる。一方の加世田も粘りの走りを見せ、そのまま逃げ切りフィニッシュ。千葉は3年ぶりの優勝となった。新谷は2年連続で9区の区間新記録を更新した。2位は東京、3位は長野。地元・福島は9位だった。

優勝チーム記録

第35回大会・令和元年11月10日(日) 千葉県チーム 2時間18分56秒									
監督・滝田照行／コーチ・佐俣牧子 豊岳大樹									
区間	1区・6km	2区・4km	3区・3km	4区・3km	5区・5.0875km	6区・4.1075km	7区・4km	8区・3km	9区・10km
選手	風間 歩佳 (成田高3年) 19' 43"	佐藤 奈々 (スタート) 13' 51"	山崎 りさ (成田高2年) 10' 03"	鈴木 優菜 (西の原中3年) 10' 09"	加藤 礼菜 (小金高3年) 17' 20"	篠塚 麻衣 (ユニバーサルエンターテインメント) 13' 17"	小坂井智絵 (成田高2年) 12' 41"	南 莉花 (大網中3年) 9' 21"	加世田梨花 (名城大3年) 32' 31"

第36回 21.11.14



1	群馬	2° 17' 10"
2	長野	2° 17' 33"
3	千葉	2° 18' 19"
4	宮城	2° 19' 32"
5	福島	2° 19' 34"
6	東京	2° 20' 01"
7	栃木	2° 20' 19"
8	神奈川	2° 20' 39"
9	静岡	2° 21' 55"
10	北海道	2° 22' 10"
11	埼玉	2° 22' 55"
12	秋田	2° 24' 45"
13	茨城	2° 25' 01"
14	青森	2° 25' 33"
15	岩手	2° 26' 40"
16	山梨	2° 26' 46"
17	新潟	2° 27' 30"
18	山形	2° 27' 59"

1区 (6km)	岡本春美 (群馬・ヤマダホールディングス)	★ 18' 44"
2区 (4km)	保坂晴子 (東京・日本体育大2年)	12' 57"
3区 (3km)	名和夏乃子 (長野・長野東高1年)	9' 59"
4区 (3km)	今西紗世 (千葉・八木中3年)	9' 27"
5区 (5.0875km)	米澤奈々香 (宮城・仙台育英学園高3年)	16' 09"
6区 (4.1075km)	伊藤南美 (神奈川・川崎橘高3年)	13' 23"
7区 (4km)	佐藤悠花 (長野・長野東高2年)	13' 17"
8区 (3km)	小泉咲菜 (群馬・伊勢崎四中3年)	9' 27"
9区 (10km)	不破聖衣来 (群馬・拓殖大1年)	31' 29"

※ ★は区間新記録

2年ぶりの開催となった36回大会は、日本陸上界の新星・不破聖衣来の驚異の走りで群馬チームが6大会ぶりに優勝。また同じ群馬で1区を走る岡本春美が14年ぶりの区間新記録を樹立した。全国屈指の実力を持つ中学生ランナー・千葉の今西紗世、スーパー高校生・宮城の米澤奈々香が力走するなど、文字通りこれからの日本陸上界を担うニューヒロインたちの活躍が目立つ大会となった。

2位は長野、3位は千葉、地元福島は5位だった。

優勝チーム記録

第36回大会・令和3年11月14日(日) 群馬県チーム 2時間17分10秒									
監督・永井 聡 / コーチ・北田初男 福田恵美									
区間	1区・6km	2区・4km	3区・3km	4区・3km	5区・5.0875km	6区・4.1075km	7区・4km	8区・3km	9区・10km
選手	岡本春美 (ヤマダホールディングス) 18' 44"	並木美乃 (常磐高3年) 13' 11"	柴田彩花 (ヤマダホールディングス) 10' 08"	田代莉奈子 (新島学園中2年) 9' 55"	荻野実夕 (ヤマダホールディングス) 16' 53"	山田愛 (健大高崎高3年) 13' 34"	今美里 (太田女子高2年) 13' 49"	小泉咲菜 (伊勢崎四中3年) 9' 27"	不破聖衣来 (拓殖大1年) 31' 29"

第37回 22.11.13



第37回大会成績			
1	東京	2° 17' 29"	
2	千葉	2° 18' 30"	
3	埼玉	2° 19' 03"	
4	神奈川	2° 19' 34"	
5	宮城	2° 19' 54"	
6	栃木	2° 20' 32"	
7	福島	2° 20' 41"	
8	長野	2° 21' 01"	
9	静岡	2° 22' 11"	
10	群馬	2° 23' 15"	
11	北海道	2° 23' 50"	
12	新潟	2° 24' 38"	
13	茨城	2° 25' 31"	
14	山梨	2° 26' 43"	
15	青森	2° 26' 48"	
16	秋田	2° 26' 57"	
17	山形	2° 27' 04"	
18	岩手	2° 30' 13"	

第37回大会区間記録			
1区 (6km)	岡本春美 (群馬・ヤマダホールディングス)	18' 50"	
2区 (4km)	古田島彩 (神奈川・白鷗女子高2年)	13' 10"	
3区 (3km)	村岡美玖 (長野・長野東高3年)	9' 45"	
4区 (3km)	磯陽向 (栃木・那須塩原市立厚崎中3年)	9' 22"	
5区 (5.0875km)	杉森心音 (宮城・仙台育英学園高3年)	16' 11"	
6区 (4.1075km)	長岡みさき (宮城・仙台育英学園高1年)	13' 18"	
7区 (4km)	岡本姫渚乃 (神奈川・白鷗女子高2年)	13' 12"	
8区 (3km)	村上美優 (千葉・船橋市立海神中3年)	9' 20"	
9区 (10km)	新谷仁美 (東京・積水化学)	31' 08"	

37回大会は、2大会ぶりに出場した新谷仁美(東京)が1分差を逆転。東京が10回目の優勝を果たし、千葉と並び大会最多となった。また、1区では岡本春美(群馬)が2年連続での区間賞。福島県出身で初出場の山ノ内みなみ(埼玉)は9区で順位を4つ上げる快走を見せた。中学生では4区で磯陽向(栃木)、8区では村上美優(千葉)が区間賞を獲得し、現在も次のステージで活躍している。

2位は千葉、3位は埼玉。地元福島は7位だった。

優勝チーム記録

第37回大会・令和4年11月13日(日) 東京都チーム 2時間17分29秒									
監督・中村孝生／コーチ・田島 恵 野間 昭									
区間	1区・6km	2区・4km	3区・3km	4区・3km	5区・5.0875km	6区・4.1075km	7区・4km	8区・3km	9区・10km
選手	堀尾 和帆 (ベアーズ) 20' 06"	道下 美槻 (立教大3年) 13' 18"	小川 陽香 (順天高3年) 10' 01"	一兜 咲子 (杉並区立大宮中2年) 9' 49"	増渕 祐香 (名城大3年) 16' 35"	河野 花 (東京高3年) 13' 28"	磯野 友希 (東京実業高3年) 13' 19"	大木 優奈 (江戸川区立葛西第二中2年) 9' 45"	新谷 仁美 (積水化学) 31' 08"



18都道府県ユニフォームデザイン



1. 北海道



2. 青森



3. 岩手



4. 宮城



5. 秋田



6. 山形



7. 福島



8. 茨城



9. 栃木



10. 群馬



11. 埼玉



12. 千葉



13. 東京



14. 神奈川



15. 山梨



16. 新潟



17. 長野



18. 静岡